

【参考資料】

# 2022年度わが国貿易収支、経常収支の見通し

～輸出入は堅調に回復、貿易収支赤字は改善し、経常収支黒字も拡大～

---

2021年12月2日（木）発表  
貿易動向調査委員会



一般社団法人 日本貿易会  
Japan Foreign Trade Council, Inc.

# 日本貿易会 貿易見通しの特徴

- 日本貿易会 貿易動向調査委員会傘下の貿易見通し作成専門委員会に参加する**商社 8 社\***が共同で見通しを作成

\* 8 社（社名五十音順）

伊藤忠商事(株)、住友商事(株)、双日(株)、豊田通商(株)、(株)日立ハイテク、丸紅(株)、三井物産(株)、三菱商事(株)

- 社内外へのヒアリングなどに基づく  
「**商品別積み上げ方式**」 + 「**マクロ的分析**」  
により作成
- 1974年から開始（**2021年で48年目**、延べ67回目）

# 前提条件とした経済環境

	2020	2021	2022
世界貿易 (暦年)	▲ 4.9 %	10.1 %	5.0 %
世界経済 (暦年・実質)	▲ 3.1 %	5.7 %	4.5 %
米    国	▲ 3.4 %	6.0 %	4.1 %
ユ    ー    ロ    圏	▲ 6.3 %	4.8 %	4.2 %
アジア新興国市場及び途上国・地域	▲ 0.8 %	7.2 %	5.9 %
日本経済 (年度・実質)	▲ 4.4 %	3.0 %	2.7 %

(注1) アジア新興国市場及び途上国・地域はIMF定義によるEmerging and Developing Asia。

(注2) 上記の前提条件に加え、11月中旬の外国為替市場および原油市場の動向を参考に、円相場は2021年度111円/ドル、2022年度112円/ドル。原油入着価格は2021年度77ドル/バレル、2022年度70ドル/バレルとの前提条件を以て積み上げ作業を実施。

1. 2022年度には主要国で新型コロナウイルス感染が抑制され、ワクチン普及や重症化を防止する治療法確立により、ウィズコロナでの各国経済活動が正常化する。
2. 国内でも新型コロナウイルスの影響は減少し、ウィズコロナでの経済活動は正常化に向かう。
3. 半導体などの供給不足は2022年度後半には解消される。

# 今回の予測結果

輸出入は堅調に回復、貿易収支赤字は改善し、経常収支黒字も拡大

1. 通関輸出は、2021年度が前年度比20.7%増の83.9兆円、2022年度は同2.5%増の86.0兆円。

- 2021年度は、コロナ禍からの世界的な経済正常化に伴い、幅広い品目で輸出数量が増加、大幅回復。
- 2022年度は、落ち着いた増加傾向に転ずる。

2. 通関輸入は、2021年度が前年度比27.4%増の87.1兆円、2022年度は同0.9%増の87.9兆円。

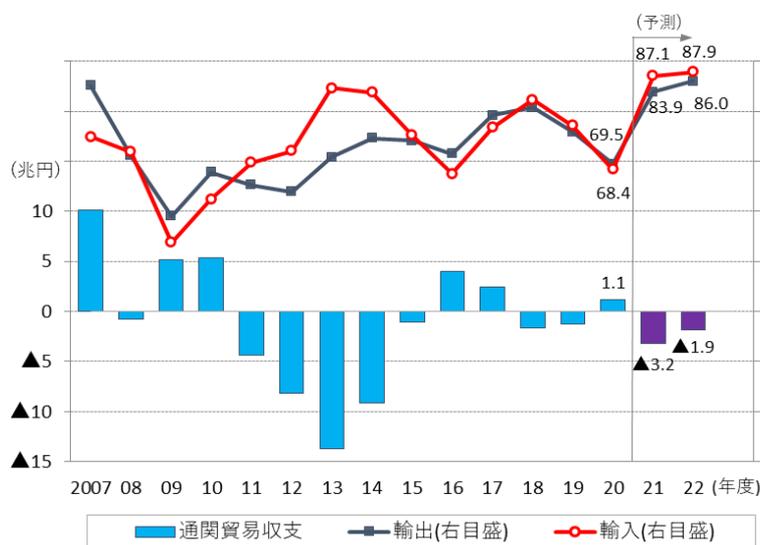
- 2021年度は、景気回復に加えて、資源・原材料などの輸入価格大幅上昇の影響大。
- 2022年度は、資源・原材料などの輸入価格の若干下落などで微増。

3. 経常収支黒字は2021年度16.3兆円、2022年度19.4兆円。

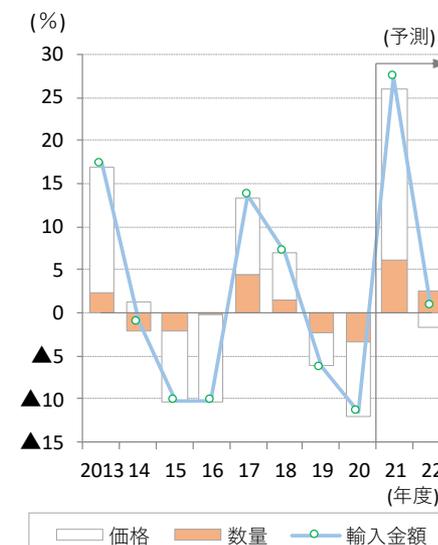
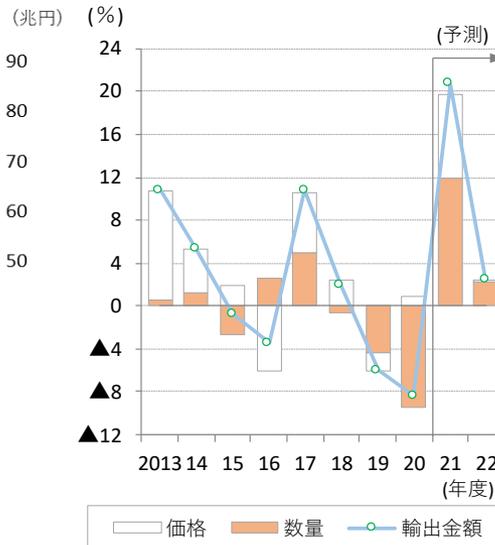
- 2021年度は、輸出を上回る輸入の増加により、経常収支黒字は縮小。
- 2022年度は、貿易収支改善、インバウンド消費の持ち直し、第一次所得収支の黒字増により、経常収支黒字は2019年度に近い水準へ回復。

# 通関貿易収支の見通し

## 日本の貿易収支（通関ベース）



## 数量と価格の推移（前年度比）

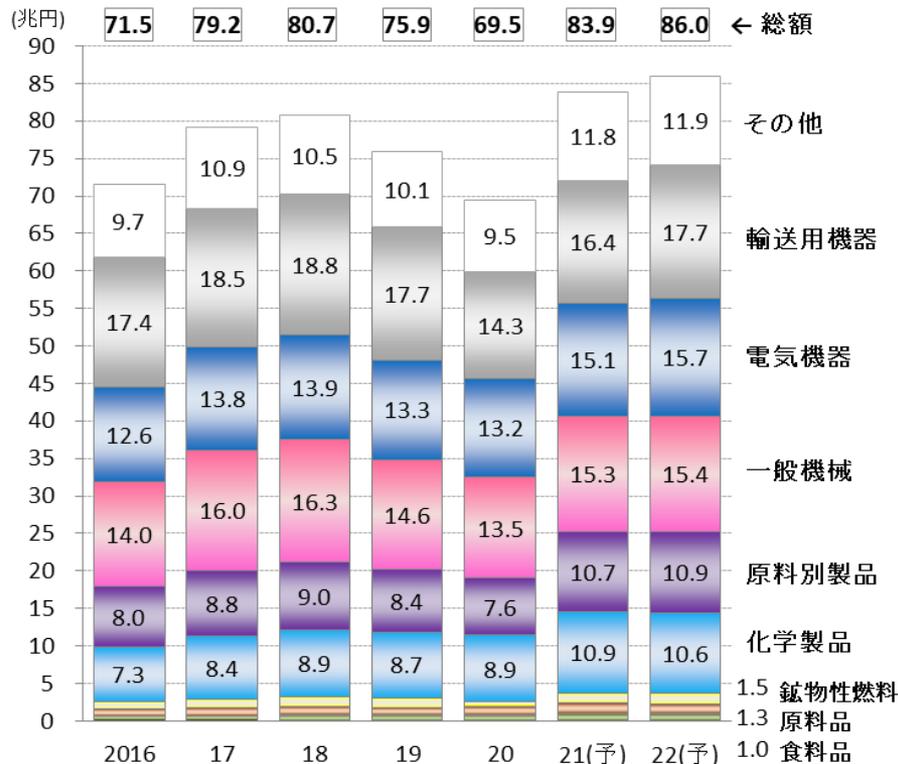


	2020年度実績		2021年度見込み		2022年度見通し	
	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)
<b>通関貿易収支</b>	1,134	+2,416	▲ 3,173	-4,307	▲ 1,868	+1,305
<b>輸 出</b>	69,486	(-8.4%)	83,895	(20.7%)	85,984	(2.5%)
数量要因		-9.4%		12.0%		2.3%
価格要因		1.0%		7.8%		0.2%
<b>輸 入</b>	68,352	(-11.4%)	87,067	(27.4%)	87,852	(0.9%)
数量要因		-3.5%		6.1%		2.6%
価格要因		-8.5%		20.0%		-1.6%

# 品目別輸出の見通し

- **2021年度** … **多くの商品で大幅増加。** 輸出総額を大きく押し上げる品目は、**輸送用機器、電気機器、一般機械、鉱物性燃料、原料別製品**など。
- **2022年度** … **2021年度に大幅増となった品目が安定的な増加に転じる。** 輸送用機器の自動車関連は、**東南アジアなどのサプライチェーン混乱の解消を見込み、数量・金額ともに2019年度水準まで回復する見通し。**

日本の品目別輸出（年度）



品目 (主な具体的商品)	2020年度 シェア(%)	前年度比増減率 (%)		
		2020	21(予)	22(予)
<b>輸出総額</b>	<b>100.0</b>	<b>▲ 8.4</b>	<b>20.7</b>	<b>2.5</b>
食料品	1.2	12.9	17.5	▲ 0.2
原料品 (生ゴム、金属スクラップ)	1.6	4.6	30.1	▲ 11.7
鉱物性燃料	0.9	▲ 54.5	107.9	21.1
化学製品 (プラスチック、有機化合物、化粧品、医薬品)	12.8	2.0	22.5	▲ 2.5
原料別製品 (鉄鋼、非鉄金属、繊維製品、ガラス、タイヤ)	10.9	▲ 9.6	41.0	1.8
一般機械 (原動機、建設・鉱山機械、金属加工機械)	19.4	▲ 7.8	13.5	0.5
電気機器 (電子部品、電気計測機器)	18.9	▲ 0.7	15.0	4.0
輸送用機器 (自動車、自動車部品、船舶)	20.6	▲ 19.2	14.6	7.6
その他 (科学光学機器)	13.7	▲ 5.3	23.8	1.1

# 品目別輸入の見通し

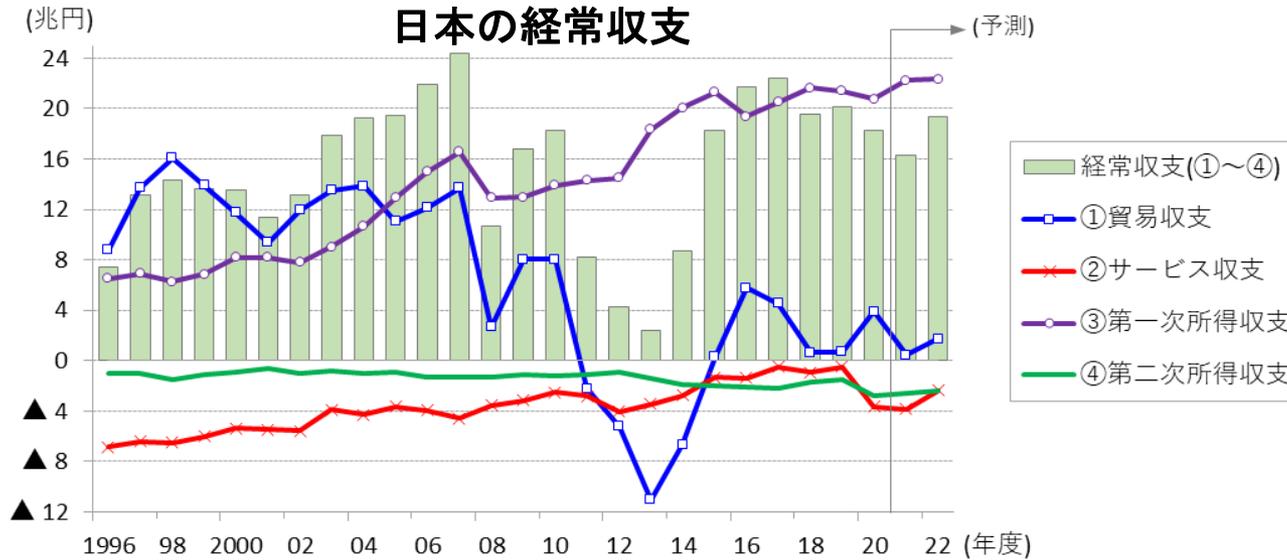
- 2021年度 … **全ての品目で増加**。輸入総額を大きく押し上げる品目は、**鉱物性燃料、化学製品、電気機器、原料品**など。
- 2022年度 … 2021年度に大幅増となった品目が安定的な増加に転じる。**鉱物性燃料は、原油や石炭の価格下落を主因に、原油や石油製品、石炭が減少に転じる**。

日本の品目別輸入（年度）



(主な具体的商品)	2020年度 シェア(%)	前年度比増減率(%)		
		2020	21(予)	22(予)
<b>輸入総額</b>	<b>100.0</b>	<b>▲ 11.4</b>	<b>27.4</b>	<b>0.9</b>
食料品	9.7	▲ 7.5	13.3	1.1
原料品 (鉄鉱石、非鉄金属鉱)	7.1	▲ 0.8	48.3	9.8
鉱物性燃料 (原油、LNG、石炭)	15.5	▲ 36.2	79.5	▲ 3.5
化学製品 (医薬品、有機化合物)	11.6	▲ 2.2	27.9	▲ 1.0
原料別製品 (非鉄金属、鉄鋼、繊維製品、ガラス)	9.8	▲ 3.0	25.7	4.9
一般機械 (コンピュータ・周辺機器)	10.6	▲ 1.8	5.4	4.4
電気機器 (通信機、電子部品)	17.3	0.3	12.2	8.6
輸送用機器 (自動車、航空機)	3.9	▲ 24.2	22.2	8.0
その他 (衣類、科学光学機器)	14.7	▲ 8.4	7.4	0.2

# 経常収支の見通し



(注1) 第一次所得収支は、直接投資収益や証券投資収益など、対外債権・債務から生じる利子・配当金の収支。  
第二次所得収支は、官民の無償資金協力、寄付、贈与、賠償金などの収支。

(注2) 国際収支統計上の貿易収支の改善や悪化は、通関貿易統計と概ね連動するが、輸入の定義の違い(運賃や保険料を控除)などにより収支の水準が異なる。

	2020年度 実績		2021年度 見込み		2022年度 見通し	
	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)
貿易・サービス収支	238	+1,471	▲ 3,412	-3,650	▲ 615	+2,796
貿易収支	3,902	+3,418	428	-3,474	1,743	+1,315
輸出	68,351	(-8.6%)	82,524	(20.7%)	84,579	(2.5%)
輸入	64,449	(-13.2%)	82,096	(27.4%)	82,836	(0.9%)
サービス収支	▲ 3,664	-1,946	▲ 3,840	-176	▲ 2,359	+1,481
第一次所得収支	20,772	-869	22,215	+1,443	22,352	+137
第二次所得収支	▲ 2,757	-1,277	▲ 2,551	+206	▲ 2,344	+207
経常収支	18,253	-674	16,252	-2,001	19,393	+3,141

(注) 金額は表示単位未満を四捨五入しているため計算が合わないことがある。

**(補 足)**

# 輸出品目別増減

品目	2020年度 (実績)		2021年度 (見込み)				2022年度 (見通し)				
	10億円	伸び率%	上半期		下半期		10億円	伸び率%		伸び率%	
			(実績)	伸び率%	(見込み)	伸び率%					
<b>総額</b>	69,486	▲8.4%	41,465	+34.2%	42,430	+10.0%	83,895	+20.7%	↑	85,984	+2.5%
EX 01 食料品	840	+12.9%	490	+27.7%	498	+9.0%	988	+17.5%	→	986	▲0.2%
EX 02 原料品	1,090	+4.6%	746	+64.9%	672	+5.3%	1,418	+30.1%	↓↓	1,252	▲11.7%
EX 03 鉱物性燃料	613	▲54.5%	451	+70.6%	824	+136.2%	1,275	+107.9%	↑↑	1,545	+21.1%
EX 04 化学製品	8,861	+2.0%	5,298	+31.4%	5,557	+15.1%	10,855	+22.5%	↓	10,584	▲2.5%
EX 05 原料別製品	7,601	▲9.6%	5,026	+44.8%	5,693	+37.8%	10,719	+41.0%	↑	10,915	+1.8%
鉄鋼	2,542	▲18.1%	1,953	+65.4%	2,027	+48.9%	3,980	+56.6%	↑	4,020	+1.0%
非鉄金属	1,683	+19.2%	1,037	+33.1%	1,363	+50.9%	2,401	+42.6%	↑	2,469	+2.8%
織物用糸・繊維製品	578	▲17.5%	333	+25.4%	336	7.4%	669	+15.6%	↑	693	+3.6%
非金属鉱物製品	744	▲9.6%	446	+30.2%	449	+11.7%	895	+20.2%	→	899	+0.5%
ゴム製品	703	▲19.4%	441	+40.5%	466	+19.8%	907	+29.1%	↑	933	+2.9%
EX 06 一般機械	13,480	▲7.8%	8,168	+35.4%	7,134	▲4.2%	15,302	+13.5%	→	15,381	+0.5%
原動機	2,139	▲19.2%	1,211	+32.8%	1,078	▲12.2%	2,289	+7.0%	↑	2,312	+1.0%
EX 07 電気機器	13,157	▲0.7%	7,610	+26.0%	7,520	+5.6%	15,130	+15.0%	↑	15,740	+4.0%
半導体等電子部品	4,217	+3.1%	2,392	+17.4%	2,410	+10.6%	4,802	+13.9%	↑	4,995	+4.0%
電気計測機器	1,560	▲3.5%	924	+30.2%	840	▲1.3%	1,763	+13.0%	↑	1,816	+3.0%
EX 08 輸送用機器	14,317	▲19.2%	7,922	+36.4%	8,492	▲0.2%	16,414	+14.6%	↑	17,655	+7.6%
自動車	9,511	▲19.0%	5,196	+36.7%	5,776	+1.2%	10,972	+15.4%	↑	12,022	+9.6%
自動車の部分品	2,947	▲16.2%	1,827	+58.5%	1,797	+0.2%	3,624	+23.0%	↑	3,691	+1.8%
船舶	1,097	▲22.3%	494	▲3.1%	471	▲19.9%	964	▲12.1%	↓	908	▲5.8%
EX 09 その他	9,525	▲5.3%	5,753	+30.0%	6,040	+18.4%	11,793	+23.8%	↑	11,926	+1.1%
科学光学機器	2,010	▲5.3%	1,144	+22.8%	1,200	+11.2%	2,344	+16.6%	↑	2,406	+2.7%

\*2021年度上半期の実績は確報ベース、金額は表示単位未満を四捨五入しているため計算が合わないことがある。\*「↑」は前年度比増加、「↓」は減少、「→」は横ばい(前年度比±1%未満)

# 輸入 品目別増減

品目	2020 年度 (実績)		2021 年度 (見込み)				2022 年度 (見通し)				
	10億円	伸び率%	上半期		下半期		10億円	伸び率%			
			(実績)	伸び率%	(見込み)	伸び率%					
<b>総額</b>	68,352	▲11.4%	41,862	+30.1%	45,205	+25.0%	87,067	+27.4%	→	87,852	+0.9%
IM 01 食料品	6,603	▲7.5%	3,804	+12.7%	3,679	+14.0%	7,483	+13.3%	↑	7,568	+1.1%
魚介類	1,356	▲12.6%	729	+10.1%	785	+13.1%	1,514	+11.6%	→	1,524	+0.7%
肉類	1,398	▲9.9%	811	+10.5%	717	+8.0%	1,528	+9.3%	→	1,532	+0.3%
IM 02 原料品	4,840	▲0.8%	3,616	+59.8%	3,564	+38.3%	7,180	+48.3%	↓	6,479	▲9.8%
鉄鉱石	1,066	▲13.4%	1,046	+138.8%	1,064	+69.6%	2,110	+98.0%	↓↓	1,673	▲20.7%
非鉄金属鉱	1,572	+15.6%	1,035	+32.0%	872	+10.7%	1,907	+21.3%	↑	1,952	+2.4%
IM 03 鉱物性燃料	10,576	▲36.2%	7,808	+72.8%	11,180	+84.5%	18,988	+79.5%	↓	18,326	▲3.5%
原油及び粗油	4,057	▲49.2%	3,389	+103.0%	4,351	+82.2%	7,740	+90.8%	↓	7,214	▲6.8%
石油製品	1,221	▲22.2%	1,049	+112.6%	1,166	+60.2%	2,215	+81.3%	↓↓	1,912	▲13.6%
LNG	3,147	▲23.1%	1,784	+29.4%	2,892	+63.5%	4,676	+48.6%	↑↑	5,225	+11.7%
LPG	478	▲8.9%	297	+69.4%	615	+103.4%	912	+90.9%	↑	959	+5.1%
石炭	1,635	▲30.9%	1,227	+54.7%	2,022	+140.3%	3,249	+98.8%	↓↓	2,786	▲14.2%
IM 04 化学製品	7,897	▲2.2%	5,074	+27.5%	5,024	+28.2%	10,098	+27.9%	↓	10,000	▲1.0%
IM 05 原料別製品	6,697	▲3.0%	4,197	+26.3%	4,220	+25.1%	8,417	+25.7%	↑	8,826	+4.9%
鉄鋼	705	▲21.1%	519	+53.5%	559	+52.6%	1,079	+53.0%	↑↑	1,209	+12.1%
非鉄金属	1,817	+2.7%	1,483	+85.6%	1,381	+35.6%	2,863	+57.6%	↑	2,960	+3.4%
織物用糸・繊維製品	1,274	+37.5%	495	▲35.0%	488	▲4.6%	983	▲22.8%	↑	998	+1.6%
非金属鉱物製品	575	▲13.7%	344	+24.2%	317	+6.7%	662	+15.1%	↑	690	+4.3%
IM 06 一般機械	7,221	▲1.8%	3,826	+8.6%	3,784	+2.3%	7,611	+5.4%	↑	7,942	+4.4%
電算機類(含周辺機器)	2,563	+19.3%	1,124	▲10.7%	1,057	▲19.0%	2,181	▲14.9%	↓	2,016	▲7.6%
IM 07 電気機器	11,800	+0.3%	6,600	+25.0%	6,641	+1.9%	13,241	+12.2%	↑	14,381	+8.6%
半導体等電子部品	2,548	▲1.2%	1,674	+36.0%	1,660	+26.0%	3,334	+30.8%	↓	3,100	▲7.0%
通信機	3,052	+9.7%	1,520	+26.6%	1,600	▲13.6%	3,120	+2.2%	↑	3,300	+5.8%
IM 08 輸送用機器	2,641	▲24.2%	1,562	+37.8%	1,665	+10.5%	3,227	+22.2%	↑	3,485	+8.0%
自動車	1,206	▲14.9%	687	+36.1%	687	▲2.0%	1,374	+14.0%	↑	1,457	+6.0%
航空機類	395	▲53.9%	240	+23.3%	293	+45.8%	533	+34.7%	↑↑	593	+11.4%
IM 09 その他	10,076	▲8.4%	5,373	+12.1%	5,448	+3.1%	10,821	+7.4%	→	10,845	+0.2%
衣類・同付属品	2,710	▲13.2%	1,381	+4.6%	1,439	+3.4%	2,819	+4.0%	↓	2,775	▲1.6%
製品輸入	46,332	▲4.6%	26,633	+21.2%	26,783	+10.3%	53,416	+15.3%	↑	55,479	+3.9%

\*2021年度上半期の実績は確報ベース、金額は表示単位未満を四捨五入しているため計算が合わないことがある。\*「↑」は前年度比増加、「↓」は減少、「→」は横ばい(前年度比±1%未満)

# 「通関貿易収支」と經常収支の「貿易収支」の違い

- **「通関貿易収支」：通関ベース**

モノの貿易に特化して商品別に細かく分析しているため、**国や企業の経済活動状況や景況感がわかる**

- **「貿易収支」：決済ベース**

国際的な資金の流れとして貿易収支を分析しているため、**諸外国との財貨・サービス・カネの動きがわかる**

